にほん勤労協ネットワーク　No.１４８　2019年4月26日発行
日本勤労者協議会連合会
☎・ＦＡＸ　054-273-5130
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.kinrokyo.net/
ｅﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ　nihon@kinrokyo.net

3．21さようなら原発全国集会

３月２１日（木・祝）東京・代々木公園で「さようなら原発全国集会」（主催・「さようなら原発１千万署名」市民の会）が開かれ、全国各地から１万人が参加しました。福島原発事故から８年目、いまだ４万人を越える被災者が避難生活を続けるなどの多くの難題を抱える「フクシマを忘れない」、「脱原発社会の実現」を掲げて、様々な課題が訴えられました。

主催者代表・鎌田慧さんは、「原発は論理的にも倫理的にも破綻している。メリットは何もない。モラルもない。それを支えているのは安倍政権である。この政権を倒すことが必要だ」と訴えました。同じく呼びかけ人の落合恵子さんからは、「私たちの力で安倍政権にＮＯの答えを出していきましょう」と熱く語りかけました。

事故の被災者の人見やよいさんからは、モリタリングポストの撤去やトリチウムの海洋放出の問題が訴えられ、9月に東電刑事告訴裁判の判決が出ることが報告されました。また避難の協同センターの熊本美彌子さんからは、国や東電から切り捨てられている現状が報告され、だからこそ「原発のない世の中をつくっていきたい」と決意が示されました。

東京に一番近い（約110キロ）原発・東海第二原発について、東海村村議会議員の阿部功志さんからは、40歳を迎えた東海第二原発について、今後15年ほどしか稼働できない原発に、再稼働に向けた莫大な費用がつぎ込まれていること。その財源は電気料金に上乗せされていくこと。原発再稼働について「おかしい」と声をあげ、「自分たち

「３・２１さようなら原発全国集会」プログラム

第一部　音楽ライブ　イットク・ステージ
第二部　野外ステージ
　○主催挨拶　落合恵子
　○発言者
　・人見やよい（福島原発告訴団）、
　・熊本美彌子（避難の協同センター）
　・東海第二原発　阿部功志（東海村村議会議員）
　・原発ゼロ法案国会報告　山崎誠（予定）
　・高校生平和大使
　・沖縄から木村辰彦（沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック）
　・危険な安部政権について　福山真劫（戦争させない・9条壊すな総がかり行動実行委）
　・フクシマ連帯キャラバン報告
　○集会決議
　○閉　会　鎌田慧さん
デモ　原宿コース、渋谷コース

の問題」と捉えていこうと語られました。

立憲民主党の山崎誠議員からは、昨年３月に国会に提出した「原発ゼロ基本法案」から１年間が経過したが、与党は審議を拒否し続けて棚ざらしになっている。しかしながら、風向きは原発ゼロになっている、チャンスはある。地域の身近な政治家に「審議くらいしたら良いのではないか。」と、一人でも多くの方に声をかけてもらいたいと、呼びかけました。

そのほか、安倍政権の沖縄での辺野古の埋立て強行や憲法改悪などの問題が訴えられました。

労働組合若手が中心となって福島・新潟・茨城・東京と「フクシマ連帯キャラバン」が今年も取り組まれ、報告がなされました。

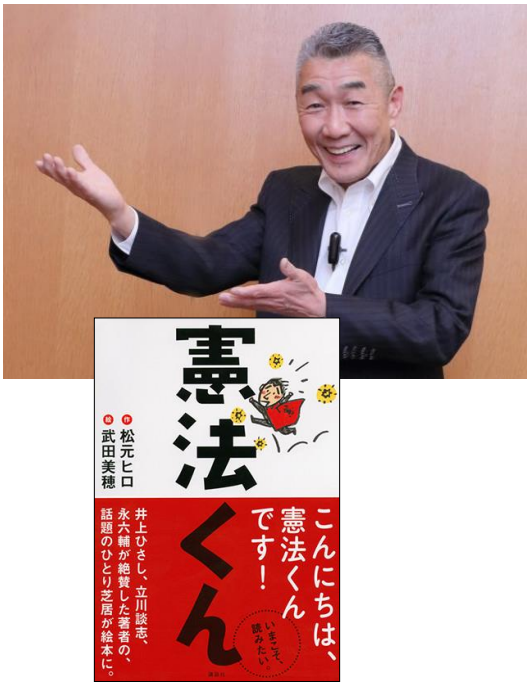
最後に「集会アピール」（別掲）を採択されました。採択されたアピールは、政府などの関係機関に送ります。

集会後は、パレードを行ないました。フクシマのみなさんを先頭に、「原発いらない！」「原発とめよう！」との声が上がりました。

ブロックの動き・県連の動き

■石川県勤労協

第 49 回石川県消費者大会



２月１３日（水）１３：３０より、労済会館３階ホールに於いて、第４９回消費者大会が行われました。今回は今こそ護憲派・改憲派を問わず消費者（国民）として知っておくべき憲法の基本について、１人芝居＆ミニ講座がありました。１人芝居「憲法くん」と題し、松本ヒロ氏（写真右）が巧みな話術で皆さんを笑わせながら、憲法の基本の話がありました。ミニ講座では、「憲法とはどんな法律か」と題して渡辺数磨氏（金沢弁護士会）よりお話がありました。

◆今後の取組み

○５．３憲法記念日集会　記念講演

日時　５月３日（火）１４：００～

会場　歌劇座大ホール

講師　普久原均さん（琉球新報編集局長）

○石川県勤労協第３８回定期総会＆研究集会

日時　５月１２日（日）～１３日（月）※朝食後解散

会場　片山津温泉　ホテル北陸古賀の井

（石川勤協連情報№.２０１より）

交流のひろば

■　雀宮勤労協（栃木県）

◆２２年間の活動を休止することに・・・

総会には１３名の会員が出席

３月２日（土）、２０１９年度総会を茂原健康交流センターで開催しました。

出席者が自己紹介をした後、大島幸治さんを議長に選出し、会員３５名中出席者１３名、委任状提出１４名で総会の成立を確認しました。

鈴木さちえ会長のあいさつ、県勤労協連宇賀神文雄事務局次長、宇都宮地区労渡辺公一議長の来賓あいさつを受けて、報告事項と議事に入りました。

フリーマーケット不振等で収入激減

活動報告では、ロコモーショントレーニング講習会の開催、関東甲信越ブロック総会への参加、ニュースの３回発行等が報告されるとともに、収入減少により学習会が開催できなかったことの反省すべき事項もあわせて報告されました。

この後、経過報告、決算報告、会計監査報告が全体の拍手で承認されました。

活動を休止することを了承

２０１９年度の活動方針では、①役員の高齢化等により役員体制が整わない、②活動費用が捻出できない、③県内の他の単協での活動がなく孤立無援の状況である、などから活動継続が困難になり、残念だが２２年間の活動を休止することが提案され、出席者の了承を得ました。

したがって、今年度の会費は集めず、繰越金はこれまでの活動の記録を残すための資料作成費用と郵送料等に充てることで了解を得ました。

総会終了後の懇親交流会は、会員でもある佐藤栄県議や中塚英範宇都宮市議も参加しての楽しい懇親会となりました。

（雀宮勤労協ニュース　第４７号より）

■　三豊市勤労協（香川県）

◆日本勤労協第２９回全国総会（琴平）に向け始動

香川県勤労協(会長・森裕行)は９月末の全国総会に向けた準備活動を開始しました。琴平町や労働福祉団体・連合や平和労組など労働組合指導組織などに２月中旬より挨拶を開始しています。

これは統一自治体選や参議院選挙が行われる大変多忙な年との認識のもと出来ることを早めに準備しようとの動きです。

三豊市勤労協のみなさんも是非日程を今からキープしておいてください。

（写真:金刀比羅宮）

〇三豊市勤労協第１４回定期総会

日時　４月２５日（木）　午後７時より

会場　豊中町農村環境改善センター研修室

（三豊市勤労協ニュースNO５９より）